

明るく元気の出る町

平成7年9月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町
1995 9
NO. 486

祝 ご成人おめでとうございます



町イメージキャラクター
「モウ太くん」

21世紀の担い手たち
本番前のスナップ

阿部町長が再選

八月十九日任期満了に伴う町長選挙は、八月六日に投票が行われ、即日開票の結果、現職の阿部幸悦氏が二、四三四票を獲得、再選を果たしました。

投票率は93.63%

町長選挙は、八月一日の告示と同時に阿部幸悦、長谷山二郎両氏が届け出、前回選挙と同じ二人による一騎打ちとなり、激しい選挙戦が展開されました。



▲町長選挙の開票作業

を記録するなど前回選挙の投票率(九二・五三%)を一ポイント上回り、関心の高さがうかがえました。

開票は、午後七時から有鄰館で行われ、参観者やテレビ、新聞など報道関係者らが詰め掛けました。今回の選挙では、全体の〇・五%に当たる二〇票が無効票、そのうちの九票が何も書かれていない白票でした。

町選挙管理委員会では「投票率が前回の選挙より上昇し、不在者投票が一五九票にも達した。町長選挙では無効票が徐々に少なくなっており、今後投票時の注意事項の徹底を図って行きたい」と話しています。



▲関心が高かった町長選挙
(写真・第4投票区)

▽町長選挙開票結果

当選 2,434票 阿部 幸悦 54 無所属現
次点 1,575票 長谷山二郎 61 無所属新
▼有権者数4,303 (男2,086, 女2,217)
▼投票者数4,029 ▼有効4,009 ▼無効20
▼持ち帰り0 ▼不受理0 ▼投票率93.63%
(男92.86%, 女94.36%)

▽町長選挙投票結果

投票区	当日有権者数	投票者数	棄権者数	投票率	内 訳	
					男	女
第1(黒瀨)	330	312	18	94.55	95.18	93.90
第2(田代)	317	298	19	94.01	91.61	96.30
第3(袖山)	160	151	9	94.38	94.74	94.05
第4(館合)	885	823	62	92.99	91.12	94.75
第5(松柴)	66	63	3	95.45	96.67	94.44
第6(老方)	857	797	60	93.00	91.73	94.17
第7(祝沢)	42	41	1	97.62	95.83	100.00
第8(高村)	22	22	0	100.00	100.00	100.00
第9(法内)	330	307	23	93.03	92.22	93.87
第10(蔵)	593	549	44	92.58	93.45	91.82
第11(黒沢)	69	67	2	97.10	97.14	97.06
第12(大琴)	556	526	30	94.60	93.77	95.41
第13(杉森)	76	73	3	96.05	97.22	95.00
合 計	4,303	4,029	274	93.63	92.86	94.36

町長

町長 阿部 幸悦

日記

新しく4年の任期をいただいて

さる八月六日の町長選挙で再び町長職に当選をさせていただきました。一期四年間の働きを評価していただき、そのうえでもう四年間をということでもあります。ご支援に心から感謝を申し上げます。これからの四年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

告示後の五日間、街頭宣伝車に乗り、町長候補者の一人として改めて町のすみずみまで五回廻らせてもらいました。多くの

人達と握手をしながら会話をさせていただきました。「いま、わが町の課題を大きく四つに整理しながら取り組んでいる。この四年間でより良い方向に向かって一歩、また一段と確かに進んだかなと自己評価はしている。しかもこれはわが町にとって永遠の課題でもあるから手をゆるめる事なくこれからも頑張らなければならぬ」と認識している。そして「わが町には多くの希望と可能性がある」とも申し

上げました。昨年の熱暑の夏にも勢い衰えることのなかった「ボツメキの水」に象徴される、この恵まれた大自然、そして本荘市をはじめとする四つの四万都市の真ん中に位置しているということ。自分たちが生活する東由利に自信と誇りをもち、しっかりと自分たちの持つ宝物を再認識していこうと申し上げたのであります。

選挙戦は終わりました。二つに別れてのそれぞれの頑張りと健闘をたたえ合いたい。

八月二十日から新しい四年間の任期が始まりました。花束を

もって当選を祝ってくれた、私を補佐してくれる役場職員の皆さんには、「二期この四年間の仕事の評価は一応良と得た。私に対するこの評価は同時に皆さんに対する町民の評価でもある。しかし私たちはこれに満足するものではない。町民の熱い期待に応えるためには、さらに百点満点を目指してより一層の努力が必要。心して頑張ら合おう」と申し上げました。

これから四年間よろしくご指導のほどお願い申し上げます。



▲あいさつする阿部幸悦町長

阿部 町長

『東由利は大きな可能性を秘めた町』

再選された阿部幸悦町長は
八月九日午前八時三十分、町

職員らに拍手で迎えられ役場に登庁。

午前九時からは役場二階会議室で全職員を前にあいさつ。この中で阿部町長は「今回当選できたのは、個人の評価ではなく行政全体としての評価である。一期四年間の実績、町職員の頑張りを無にすることのないように訴えて来た」と選挙戦を振り返った後

「私を支持してくれた人はもちろん、五、五〇〇人全町民とともに町づくりを進めて行く覚悟である。今後四年間、町行政の先頭に立って皆さんと共に仕事ができる喜びと責任の重大さを痛感している。本町は、多くの課題が山積しているが逆に大きな可能性を秘めた町。明るく元気の出る町」の一層の確立にむけて



▲町職員らに迎えられて登庁

頑張っで行こう」と二期目の抱負を述べました。

宿地区の石沢川を認定

広場、花壇整備に資金援助

潤いある水辺空間の形成を目指す、建設省が推進している「ラブリバー制度」の本年度適用河川区間に「桜並木」として知られる「宿地区の石沢川」を含む県内五か所が認定されました。

この制度は、河川清掃や草刈りなどのボランティア活動をはじめ、地域一丸となって河川愛護やイベントなどを積極的に行っている地区が対象。地域住民に河川敷を開放、花壇などに利用してもらい、これらの愛護活動を護岸整備などにより支援しようと平成元年から行われているものです。今回新たに認定された分も含めて全国で百三十七区間が認定されており、県内では初めての認定となります。



▲桜の名所で知られる宿地区の石沢川

今回、本町で認定されたのは、宿地区の根城館橋下流八四四〇メートルの区域。桜の時期になるとバイパスを通るドライバーたちの憩いの場として利用されているほか、毎年四月下旬から五月上旬にかけて、宿自治会がこいのぼりや電球などを設置して花見を楽しんでいます。



▲グローバー・ミッシェルさん

本町では、平成五年から取り組んでいます。グローバーさんは、カナダ出身で、これまで短期大学で英語の教師をしていま

小・中学校で英語の指導

グローバー・ミッシェルさん赴任

英語指導助手のアレン・キッドさんの後任としてグローバー・ミッシェルさんが八月二日、本町に赴任されました。

この事業は、国の語学指導等を行う外国青年招致事業によるもので、中学校の英語教育の中でもとりわけ重要な、話す、聞き取る力をつけ、併せて国際感覚を養ってもらおうと行われており、

子供たちも川そうじ

4トントラック4台分のゴミ

今年度二回目の河川清掃が七月三十日に行われ、四トントラック四台分のゴミを収集しました。



▲子供たちも参加した河川清掃
(写真・智者鶴地区)

河川清掃は、町と河川愛護協会（阿部和雄会長）が自治会の協力を得て毎年行っているもので、石沢川（高瀬川）

や新沢川、杉森川など十四河川の特に汚れのひどい所を重点に行われました。智者鶴自治会では午前六時、智者鶴橋付近に集合。上流から流されてきた袋や大木を除去。また、子供たちはゴミ袋片手に、空き缶やビニールなどを袋いっぱい拾っていました。

河川愛護協会事務局の町建設課では「年々ゴミの量が少なくなっている。継続してゴミのない河川になるよう努めたい」と話しています。

た。このほかに、スキー、エアロビクスなども教えていたというスポーツウーマン。契約期間は一年で、西山の教員住宅に住んでいます。

小、中学校の夏休みあけと同時に英語の授業などに活躍することになっており、主に東田利中学校で英語指導を行うことにしています。

八月三日には、町役場を訪問、グローバーさんは「カナダから来ました。よろしくおねがいします」とはつきりとした日本語であいさつしていました。

戦後50年・平和への誓い新たに



▲約150人が出席した偲ぶ会

偲ぶ会 50年の歴史、かみしめる

戦後五十年の節目の年に当たる今年、玉米地区遺族会（小松彪会長）と下郷地区遺族会（小松悌之助会長）では、「戦後五十年を偲ぶ会」を行いました。また、これに先立って行われた戦没者追悼式では、遺族らが三百十二柱の霊に献花し、御霊の冥福を祈りました。式典が行われた八月二十二日は、出席者一人一人が平和への誓いを新たにしていました。

戦後五十年を機に、遺族が一堂に会し、英霊を偲び、親睦を図ろうと行われた「戦後五十年を偲ぶ会」には関係者百五十人余りが出席。

最初に、下郷地区遺族会の小松悌之助会長が「一口に戦後五十年と言うが、私たち遺族にとっては苦難の道であった。この事実はある限り変

わることはない。私たちの子や孫が同じ道を歩むことのないよう永久に平和な世界が続くことを祈念する」とあいさつ。引き続き、体験発表が行

われ、最初に遠藤庄二郎さん（小倉）が戦時中に満州で体験した生々しい出来事を通して、戦争の冷酷さを強調。また、佐藤久さん（下通）は、女性の立場から戦中、戦後の子育ての苦労話を涙ながらに発表、会場からは、すすり泣きの声が聞かれました。

その後、小松榮男元町長が戦時中の状況を講話。米の供出、松根油の製造など、当時の状況を首長の立場から振り返り、「昭和二十年八月十五日は天気が良く暑い日。雑音の入った玉音放送が終わった瞬間、日本全体から音が消えた。敗戦というショックは日本国民にとって大変な出来事であった」と戦争の悲惨さを訴えました。

出席者は、当時の状況を思い出しながら、戦後五十年の歴史の重みをかみしめていました。

戦没者312柱の霊に祈り

追悼式



▲参列者が戦没者の霊に献花

日清戦役以後の町出身戦死病没者は三百十二柱。式場正面中央には、国旗と町旗をバックに「戦没者追悼之標」の標柱が立

ち、これを囲むように白菊や黄菊など色とりどりの生花が飾られました。

午前十時に始まった式典では「君が代」斉唱のあと、阿部幸悦町長が「祖国発展の名のもとに散華された三百十二柱の御霊に対して、謹んで追悼の誠をささげます。いま町政は、明るく元気の出る町を目指し発展しています。皆様のご加護を賜らん事を念じ、一層の平安と、ご遺族の皆様のご多幸をお祈りします」と式辞を述べま

73人が大人の仲間入り



▲ひさびさの対面に笑顔いっぱいの新成人

社会に生かせ、20歳のちから

成人式

晴れて大人の仲間入りをした若者たちを祝う町成人式が八月十五日、有鄰館で行われました。

今年成人を迎えたのは昭和四十九年四月二日から五十年四月一日までに生まれた七十三人で、このうち成人式には六十三人が出席しました。

式典は午前十時過ぎにはじまり、新成人一人一人が点呼された後、代表して畑山清和さん



▲63人が出席した成人式

私たちがこの町に生まれ早いもので二十年が経ちました。二十年前、私たちが誕生したその年、東由利は町として新たに歩みだしました。町が成人を迎えたように、今日、私たちがこの町で成人を迎えられたことをうれしく思います。今日の成人式を一番喜んでくれたのは、今まで一生懸命育ててくれた父であり母であります。今まで支えられ、守られ生きてきた私たちですが、今度は私たちが両親・地域そして社会のため何かをするときではないでしょうか。

今日、この日が私たちにあって、新たなスタートです。今までの二十年間をふり返り、これからの人生、充実したものにするためには常に目標を持っています。阿部 郁英さん(荇沢)



誓いのことば(一部割愛) 阿部 郁英さん(荇沢)

確かです。何かの困難に直面したときであっても、常にその先に目を向け目標を持ち進むことにより、必ずやそれを乗り越えることができると思います。視野を広め、そこから様々なことを吸収し学びについていくものと思います。そのためにも周囲や地域の人々の貴重なアドバイスを耳を傾け、自覚の心を忘れず早く新成人から脱却し、ひとりの大人として認められるよう努力したいと思います。

(下吹)に成人証書が、遠藤淳子さん(小倉)に町イメージソングCDなどの記念品が阿部幸悦町長から贈られました。

その後、阿部町長が「今日、われわれが幸せな生活をおくることができるのは、先人、先輩のおかげ。そして、われわれが次の世代へしっかりと引き継いでいくために努力しなければならぬ。大人の仲間入りをした今、健康に気をつけ、体をきた

え、心を豊かにし、人を愛し、社会のために頑張ってもらいたい」と式辞、阿部剛議会議長、小松順之助教育委員長が祝辞を述べました。引き続き、新成人を代表して阿部郁英さん(荇沢)が、これまで育ててくれた方々への感謝と、新たな旅立ちへの誓いを力強く述べ、式典が閉じられました。

式典の後、新成人を代表して、畠山圭亮さん(袖山)が「成人について思うこと」、遠藤好子(十二ノ前)さんが「成人という意味」と題して、これからの決意などを発表しました。

これからの人生

(新成人の
意見発表から)

一步一步確実に歩いていきたい…。

〈一部割愛〉



「成人について

思うこと」

島山 圭亮さん(袖山)

二十歳という人生の大きな節目に立って過去を振り返ってみると、私たちは裕福な時代に育ってきたし、欲しいものも何とか手に入る、または与えられる、そんな時代を過ごしてきました。それはそれで幸せな時代に生まれ育ってきたとも言えるでしょう。

しかし、成人に達し、今、自分の行動と生き方を顧みると、これでよいのだろうかという疑いを禁じ得ません。

私自身、アルバイトを通して先輩方と一緒に仕事をする機会に恵まれましたが、与えられたこと、言われたことのみで終始しているのが現状でした。「何でも与えてくれる時代に育ったから、自分から何かをしよう」という意欲が起きないのかな」という先輩の皮肉めいた言葉に、「それは仕方ないよ」とも思ってきました。

しかし先輩が、社会が私に望んでいることは「全てに対して積極的にあれ」という励ましでした。この何にでも積極的な姿勢こそが新しい自分の発見と可能性を生みだしてくれる源泉であることを教えてください。特に商売をされている方はこの不景気の時代、毎日ガリストラであり闘いの連続です。そんな方々とアル

辞書によれば、成人とは子供が成長して大人になること、心身が完全に発育して一人前になった者とあります。

一般に子供とは心身がまだ

幼く、考えが足りない人、そして社会の道理などが分からない人を指します。その対語となる大人とは、物事の道理を深く理解することのできる人、分別のある人のことです。みなさんはこの違いをどのように考えますか。私たちは義務教育の九年間を経て、それぞれの考える道へと進み、



「成人という意味」

遠藤 好子さん(十二ノ前)

現在の二十歳という分岐点に立っています。私たちは、この二十一年間にどれほどのことを学んできたでしょうか。それは先生からであり、親からであり、時には友達からではなかったでしょうか。

今ここにいる私たちに共通して言えることは、これから何かを教わるのではなく、

人になるわけではなく、その過程でつまづき悩む人も少なくはないはずです。そんな時、ここにいる仲間たちが手助けしてあげることができれば、それこそ最高の喜びだとは思いませんか。

今日のこの成人式という日を機会に、もう一度、各自が自分自身のことを振り返り、これからのことをじっくりと考えてみてはどうでしょうか。今日が皆さんにとって意味のある一日になることを願って。

下郷分校に厚生大臣感謝状 献血実績に高い評価



本荘高校下郷分校が、長年にわたる献血の協力が評価され、厚生大臣

から感謝状が贈られました。同校では、献血車来町時に、学校ぐるみで献血に協力、本荘市内の高校では年一回の献血が通例のところを

▲感謝状を手に活動に熱心な生徒たち
年二、三回実施しているほか、全校生徒の七割以上が献血するなど、他の模範となる実績が評価されたものです。
県では「小規模校ながら回数、人数とも他校の模範。今後とも協力をお願いします」と話しています。

体にやさしい成分献血

成分献血は、血小板や血漿だけを献血する方法で、献血する前の状態にもどるのが遅いといわれる赤血球はそのまま体内に返されます。
四〇〇ミリや二〇〇ミリの献血と比べ、献血時間が一時間程度と多少時間はかかりますが、身体への負担が軽く、一、二週間の間隔で献血することができます。
献血された方には、肝臓、脾臓などの機能が分析された検査表が送付されます。

成分献血
遠藤 卓哉 高沢 稔

♥愛の献血
ありがとうございます
7月27日(敬称略)

小松 長敬	小松 貢治
遠藤 哲也	阿曾 文彦
高橋 和幸	柴田 和尋
小松 雄一	佐々木信幸
小松 聖明	小松 和子
小松 和美	遠藤 晃
小松 信記	高橋 重保



国勢調査にご協力を

十月一日現在の人口を調べる国勢調査が今年、全国一斉に行われます。

国勢調査は、大正九年から五年ごとに行われており、今



国勢調査

9月下旬から 調査開始

回の調査は十六回目。赤ちゃんはもちろん、日本に住んでいるすべての方が対象で、調査結果は統計としてまとめられ、二十一世紀に向けた各種の計画や福祉対策、住宅対策や防災対策など、国や県、町の重要な基礎資料として役立てられます。
調査は、三十人の調査員が

各世帯を訪問し調査票と記入の説明書を配布、その後、再度訪問して調査票を集める方法で、九月下旬から行われます。

町では「調査された内容は、関係者がほかに漏らしたり、統計以外の目的に使われることはない。調査項目も前回より少なくなっており、調査員の指導に従い記入してほしい」と協力を呼びかけています。
お問い合わせは、役場企画課(☎69-2113)まで。

私のまち、好きなまち
皆がささえる国勢調査

年金も選挙権と同じだよ! 20歳になったら国民年金



国民年金はこれらの年金の土台と

国民年金制度は、国民共通の年金制度で、選挙権と同じく二〇歳になった時点から資格が発生します。

公的年金制度には、国民年金のほか会社や役所に務めている人たちが加入する厚生年金と共済組合の年金があります。

国民年金が加入して、支え合う仕組みになっています。

厚生年金や共済組合の年金に加入していない方が、二〇歳の誕生日を迎えたら、役場の窓口で手続きが必要となります。

詳しくは役場福祉課年金係(☎69-2118)まで。

木材をふんだんに使用

湯楽里・やしお

落ちついた雰囲気

黄桜温泉「湯楽里」とお食事処「やしお」は、十一月のオープンに向けて内装工事が急ピッチで進められています。

同施設は、昨年九月から建設が進められているもので、総面積が二、八八四・一四平方メートル、総事業費が十



▲順調に進む施設工事

三億五千七百八十三万円。内装に木をふんだんに使用し、落ち着いた雰囲気仕上げられる予定です。

黄桜温泉「湯楽里」は、入口のホールが吹き抜けで、天井窓が備えられており、明るくゆたかりとした雰囲気。県内トップクラスの泉質を誇る温泉を利用した浴槽は、ジェット風呂をはじめ、泡風呂、サウナ、水風呂などが整備されます。百十畳の休憩室をはじめ

め、三十畳の中広間、八畳から十二畳の部屋五室のほか、カラオケのできる娯楽室など大きな特徴です。

お食事処「やしお」は、和室、洋室の食事室があり、八十人の利用が可能。フランス鴨などの特産品を利用した料理や料理コンテストの入賞作品をベースにしたメニューが検討されています。



▲約30種類の料理を試食する出席者

町と株式会社黄桜の里では八月十二日、お食事処「やしお」のメニュー試食会を有鄰館で行いました。

試食会は、複数の人にメニューを試食してもらい、地元の食材をいかに利用できるか検討

しようといわれたもので、社長の阿部幸悦町長や料理コンテスト入賞者など関係者十人余りが出席しました。

メニューは、夏にあわせた料理を中心に、フランス鴨などの地元食材を加えた会席、

「さすがプロの腕前」と好評

「やしお」のメニューを試食



▲小松一雄さん

小松さん（山崎出身）がテレビ寄贈

本町山崎出身で東京都足立区在住の小松一雄さんが、株式会社黄桜の里にテレビを寄贈しました。

小松さんは、五年前程まで不動産業を営んでいましたが、現在は息子さんに譲り、奥さんと二人で生活。年一回、本町に帰省した際は、町内の名所、旧跡などを訪れるのが楽

しみの一つになっています。

今回の寄贈にあたり小松さんは、「東京で生活するようになってから、町のために何かできないかといつも考えていた。十一月にオープンする温泉はとても楽しみ。ぜひ利用してみたい」と大きな期待を寄せています。

一つの料理の特徴や調理方法などを説明した後、出席者が試食しました。

出席者からは、「おいしいさすがプロ」と好評の声が多く聞かれたほか、「値段設定がポイント」、「どんな器にするかで料理も変わる」、「特産品の効果的利用を」などの意見が出されました。

法内運動広場が完成

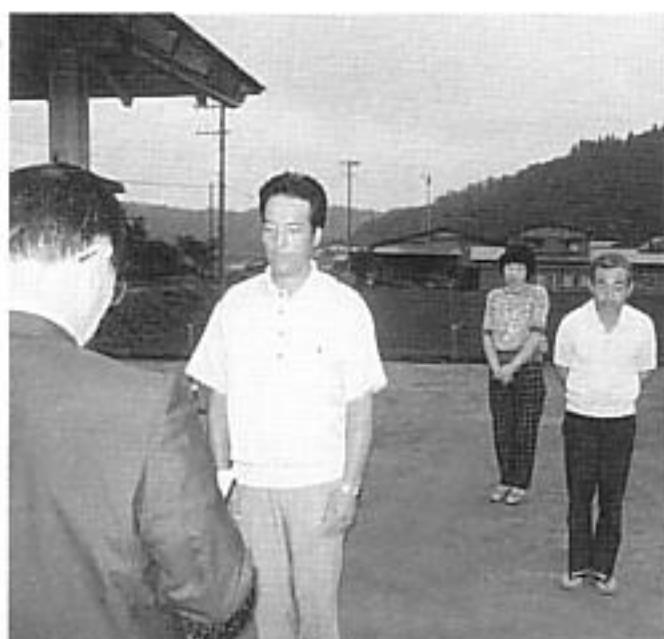
地元分館へ引き渡し

町が昨年からの工事を進めていた法内運動広場がこのほど完成、七月二十五日に法内分館への引き渡し式が行われました。

同広場は、法内地区の要望を受けて町が、昨年度に造成、今年度にトイレ、あずま屋などを整備したものです。面積が約二〇ア、土蔵をイメージした落ち着いた雰囲気トイレが特徴で、水銀灯一基も取り付けられています。

引き渡し式には、法内地区の自治会長や分館関係者が出席。阿部幸悦町長から遠藤良夫分館長に目録と施設のカギが渡されました。

八月二十日には、完成記念のゲートボール大会が行われ心地よい汗を流しました。



▲法内分館への引渡し式

地域との交流深める

第4回みどりまつり



▲花火大会は大にぎわい

地域とみどり保育園との交流を深めようと七月二十八日、第四回みどりまつりが行われ、

二百五十人余りが劇や遊戯、花火などを楽しみました。

同園では、このまつりを運動会や子供たちの演劇などを発表するたのしみ会と共に年間三大行事に位置づけ、すっかり定着。「大掛かりでなくてもみんなが楽しめるまつりにしよう」と地区の人に呼びかけ、父兄や園職員が一丸となってまつりを盛り上げています。

当日は、わたあめやおもちのつかみどりなどの模擬店のほか、ステージでは年長組の子供たちによる劇や合唱などが行われ、会場内の園前広場はおおにぎわい。最後にキャンプファイヤーや父兄手づくりの花火大会が行われ、楽しいひとときを過ごしました。

ポパイが3年ぶりに制覇

町社会人野球

第三十七回社会人野球大会が八月十六日から勤労者野球場を主会場に行われ、十四チームが熱戦を展開しました。

同大会は、予定されていた十五、十六日が雨のため試合を消化できず、十七日に七試合を行う強行スケジュール。準決勝、決勝は、二十一日からナイターで行われました。

決勝戦は、ポパイスポーツクラブと高瀬の対決。二対二の同点で迎えた二回裏、ポパイスポーツクラブがスクイズで一点を追加。その後も着実に加点したポパイスポーツクラブが、九対三で勝ち、三年ぶりの優勝に輝きました。

なお、最高殊勲選手賞に



▲優勝したポパイスポーツクラブ

斎藤和彦さん（ポパイ）、敢闘選手賞に根田和春さん（高瀬）が選ばれています。

モンスターズが初優勝

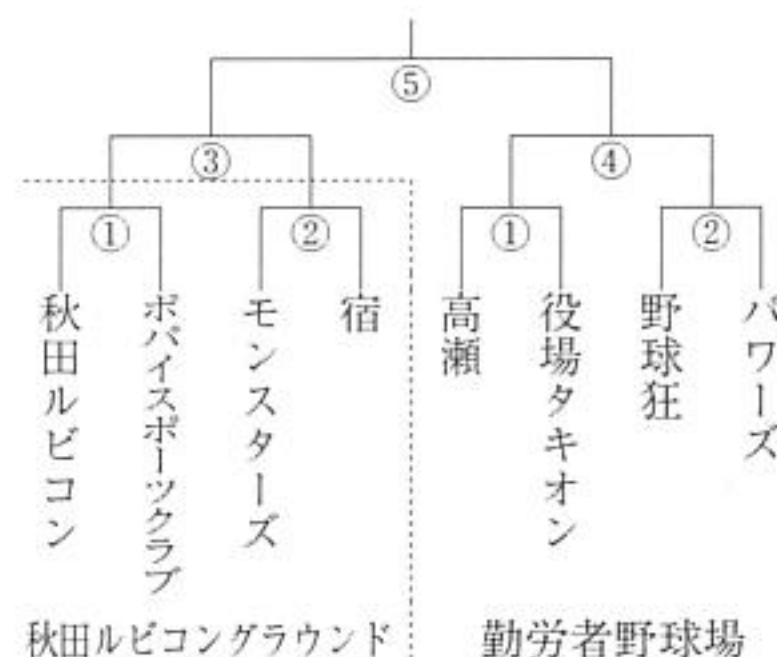
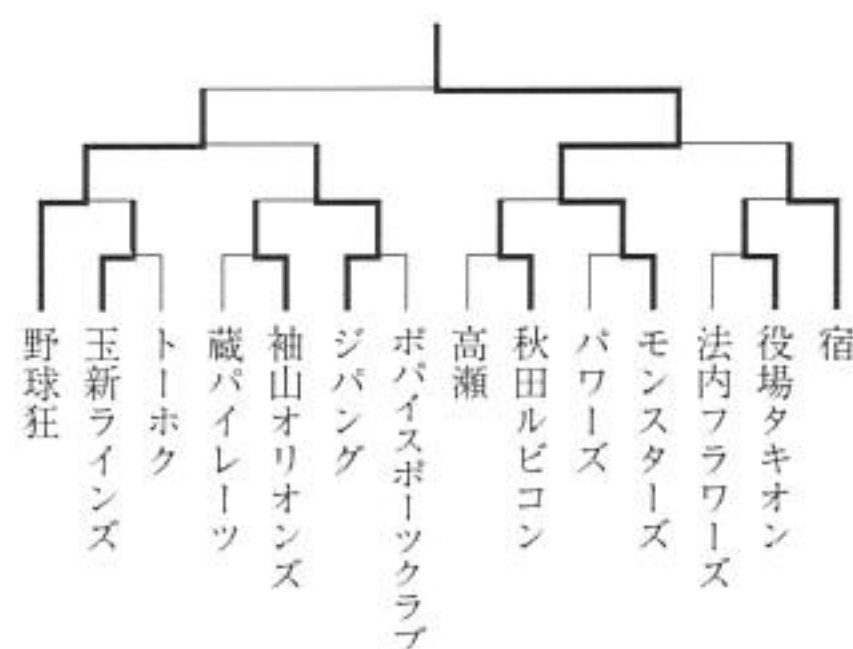
ナイター野球大会

第四回ナイター野球大会が七月五日から勤労者野球場で行われ、モンスターズが初優勝を飾りました。

組み合わせは次のとおりです。

秋季選抜大会は10日

夏の社会人野球大会でベスト8に入ったチームによる秋季選抜大会が九月十日、勤労者野球場と秋田ルビコングラウンドで行われます。



'95夏 各地で 夏まつり

八月十四、十五日を中心に、各地で盆踊りや獅子舞などの夏祭りが行われました。

地区の実行委員会が中心となり、お盆に帰省された方や子供たちなどで大にぎわい。それぞれの夏祭りをスポッポで紹介します。

「夏の祭り」が復活

住吉地区盆おどり大会

住吉分館と地区の若者たちが八月十四日、盆踊り大会を行いました。数年ぶりの盆踊りに地区の人々は「夏の祭りの復活」を喜び合いました。



▲出店も登場。まつりを盛り上げた



▲特設ステージでは数々の芸が披露された

おーくらんどは大にぎわい

大蔵夏まつり

蔵地区の夏まつりは八月十五日。大いちょうの岩館諏訪神社参拝から始まり、メイン会場の「おーくらんど」へ。特設ステージでの歌や踊りのほか、盆踊りを楽しみました。



▲真新しいはんてんを身につけ、太鼓をたたき手にも力が入る

大太鼓、はんてん、やぐらなど購入

宝くじ助成で玉米青年会

玉米青年会では、地区の盆踊り大会に向けて、大太鼓や小太鼓をはじめ、はんてん、やぐらなどの祭り用品を購入。八月十四日にお披露目の盆踊り大会を行いました。

これは、同青年会が、宝くじの普及広報を目的とする自治総合センターのコミュニティ助成事業で整備したもので、総事業費は約二百六十万円。

魚つかみどりに大歓声

十二ノ前自治会

十二ノ前自治会では八月十四日、魚つかみどりに大会が行われました。十二ノ前川には子供たちやお盆の帰省客が多数集まり、歓声を上げながらつかみどりに挑戦していました。



▲魚のつかみどりに大にぎわいの子供たち

軽快な祭りばやし

新町の鹿島神社祭典

八月十九日は、夏の終わりをつげる新町の鹿島神社祭典。新町自治会や子供たちによるみこし行列が地区内をねり歩き、軽快な祭りばやしが町内に響き渡っていました。



▲新町自治会や子供たちのみこし行列

小野清幸さんが優勝

郡市民謡合唱戦



▲小野清幸さん

第十
九回本
庄市由
利郡民
謡ル

浦対抗合唱戦が七月二十九日、本庄市文化会館で行われ、中堅の部で町民謡同好会の小野清幸さん(宿)が優勝しました。小野さんは六番目に出場し、南部木挽唄を熱唱、二位に六ポイントの差をつけ優勝したものです。

同大会に出場した町民謡同好会では、九月十日午後一時から健康増進センターで発表会を予定しています。

HIGASHIYURI

東由利の話題

TOPICS

町の宝もの

41

養田橋（下通）両岸の けや木・つきの木

写真の大木は、大水などで橋が流されるのを防ぐために、両岸に植えられました。当時の人々にとって、橋が流されるのは大変なこと。橋と木をつなぎとめ、自分たちの生活を守ろうとした苦労がうかがえます。

この木は、けや木・つきの木で、下通の養田橋両岸に植えられています。目通りの周囲は北側が四・五、南側が四・四、樹齢推定三五〇年以上のことでした。両岸にそろって植えられているのは県内でも珍しく、貴重な

業り 林だよ 森と木を活かす知恵

《森》秋田市下浜羽川の佐藤清太郎さんは、約三〇畝を「健康の森」と称して、秋田森の会（会員約二〇〇名）に森林と人間のふれあいの場として開放しています。内容は、スギ、ナラ林のほか花木や果実木、キノコや山菜などの栽培、炭焼き、歩くスキーなど森と楽しくふれあいでできる構成になっています。《木》スギ間伐小径木を活用した丸棒加工、ログハウスの鷹巣町森林

ものです。

ここは昔から交通の要衝で、参勤交代や巡検使、海岸部と内陸部を結ぶ商人をはじめ多くの人々が往来しました。なお、けや木は万葉集時代はつきの木と言われ、語源はケヤケキで際立つて他と異なる様子を表わし、字源は手を挙げた形の伸びる大木の意です。

（文・畑山昭二）

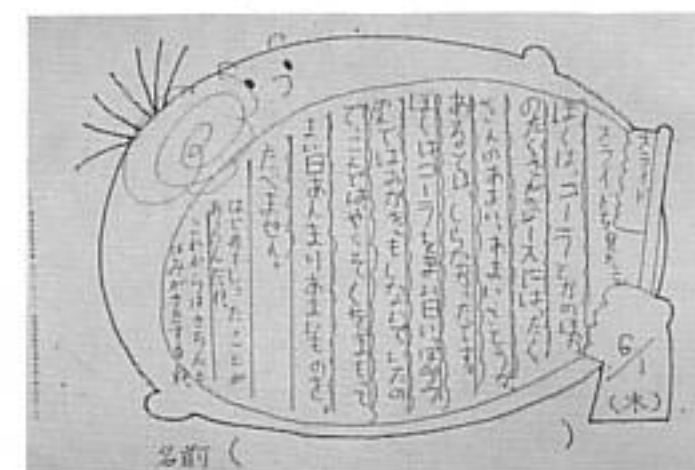


組合、スギ間伐材やナラ材を使用したユニークな木柵、木道、日用品などを製作している西木村杜匠、スギ間伐材や伐根を使用した木道製作の山内村ウツディ山内、スギ間伐材で建てた西木村診療所、スギ集成材と間伐材で建てた本庄市館のウッドレイホールこだまなど木の利用開発と普及が図られています。本町にも八塩いこいの森や桐加工、木箸製作など他市町村に劣らぬ自然と技術があります。更に森林の総合利用開発と桐やスギ小径木の有効活用を進めましょう。（町林業懇話会長、佐藤恒悦）

「みがいている」から 「みがけてる歯」に

先月の「歯のけんこう」でもふれておりましたが、本校も高学年の児童に歯肉炎が多いためその予防（歯垢の除去）に努めることにしました。保健所の保健婦さんをはじめ、小松歯科医院の歯科衛生士さんや町の保健婦さんのご指導で、ブラッシングを学習しました。赤く染まった歯垢を見て、自分で

はきれいにみがいたつもりでも、実際にはみがけていないことを知り、一生懸命はみがきをしていました。学習後は教室にある鏡をみながら、はみがきをする児童が多くなり、ブラッシング指導の効果が現れたようです。



▲作文

学習時に使用したカードと学習後の作文を紹介します。今後も児童の様子をみながら、継続したいものです。

（大琴小、田口昌子先生）

▲阿部麗奈ちゃん
（横渡・勝幸さん長女）

▲小松怜央くん
（山崎・重文さん長男）
▲大塚千聖ちゃん
（板戸・茂さん長女）

▲高橋 景ちゃん（五）
海保・春男さん長女
▲長谷山公子ちゃん
（田代・博昭さん二女）

▲島山和繁くん
（上通・繁光さん長男）
▲小松健太くん
（舟木・達也さん長男）

▲高橋聖紀くん
（新町・孝紀さん二男）

▲赤川雄馬くん（横小）
路・龍範さん三男）

▲渡辺陽絵ちゃん
（田代・等さん二女）

▲長谷山永実ちゃん
（八日町・徳保さん長女）

虫歯
なんて
ないもん。

1歳6か月
健診より



▲検査カード

の
歯
けんこう



▲ポンプ車操法に出場した5分団1部1班。
表情も真剣

ハイレベルの競技展開

本町消防団は総合5位



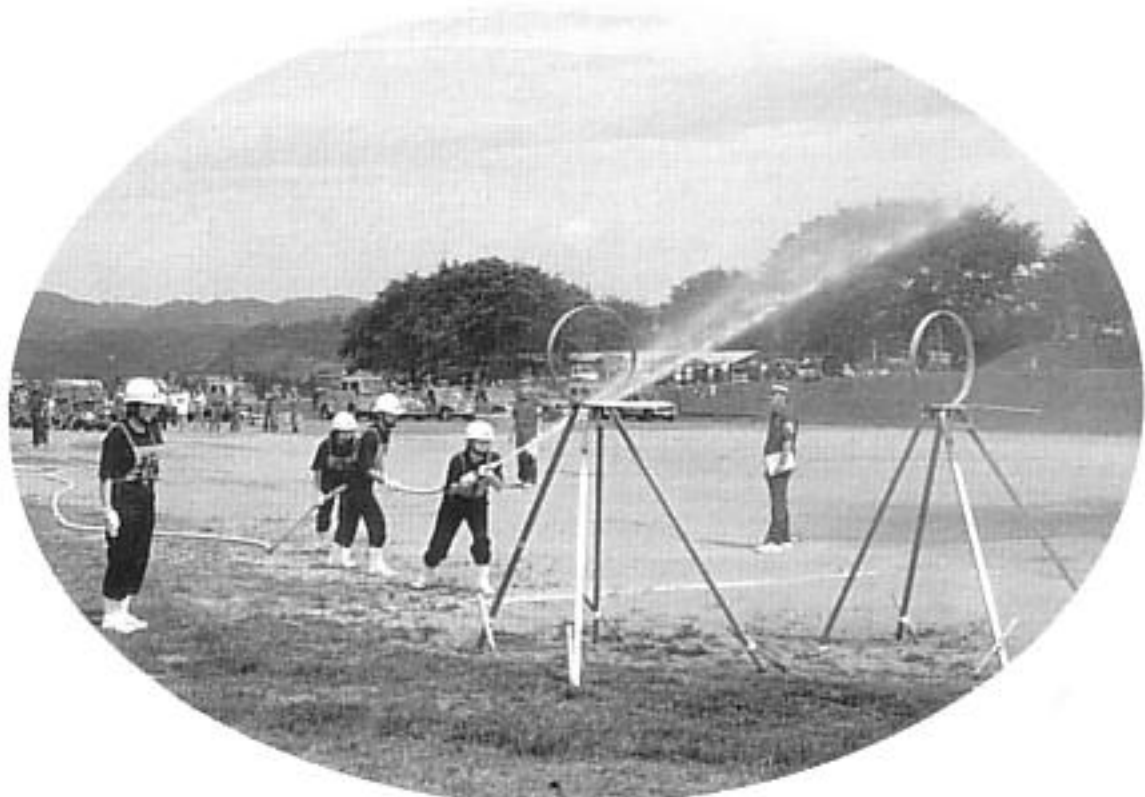
▲ハイレベルの競技を一目見ようと多くの参観者が訪れた



小型ポンプ操法はスピードが大きなポイント。全力疾走する2分団2部2班



点検報告をする4分団1部。きびきびとした行動に大きな拍手が送られた



見事な操法を披露した大内町婦人消防隊

本町、町民グラウンドで熱戦

平成七年度本荘市由利郡消防訓練大会が七月三十日、町民グラウンドで行われ、規律訓練、ポンプ車操法、小型ポンプ操法でハイレベルの競技が行われました。

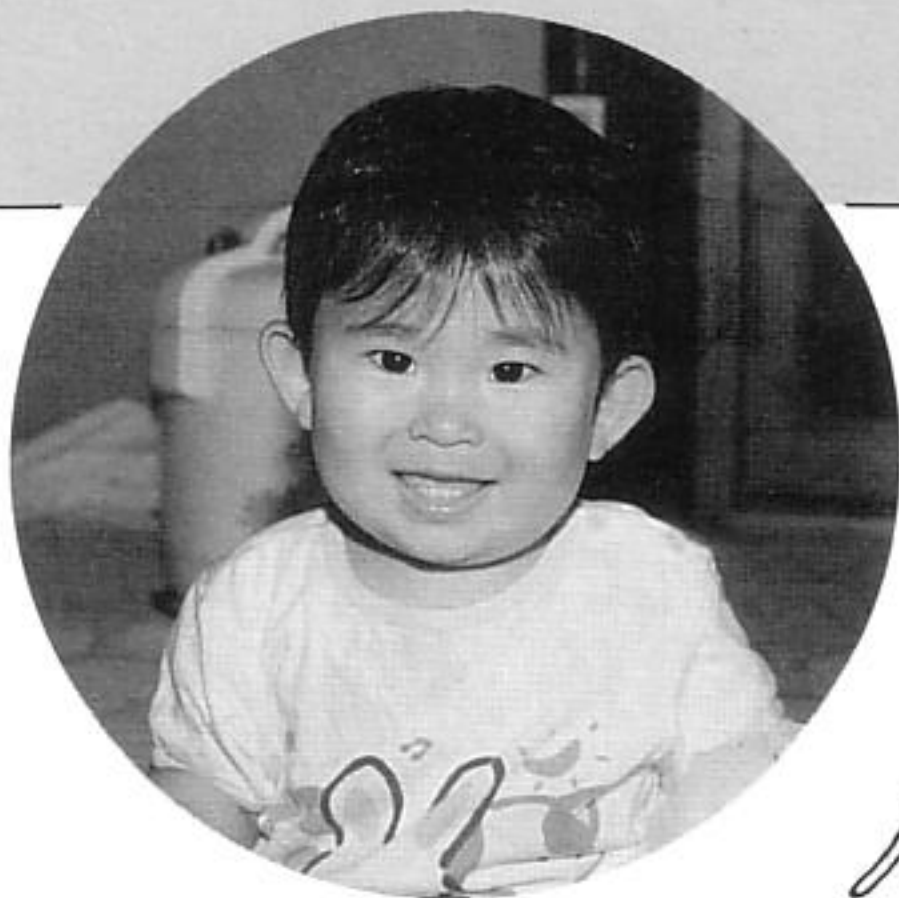
同大会は、郡内各市町持ち回りで行われているもので、本町での開催はこれがはじめて。三十度を越す炎天下の中、各市町の大会で優勝した消防団の本番さながらの競技に、会場を訪れた

参観者からは、盛大な拍手が送られていました。

本町からは、規律訓練の部に四分団一部、ポンプ車操法の部に五分団一部一班、小型ポンプ操法の部に二分団二部二班が出場。地元開催ということもあり、一段と気合いのこもった競技を展開しました。審査の結果、ポンプ車操法、小型ポンプ操法では、わずかのタイム差で四位と健闘したものの、総

合では五位にとどまりました。競技結果は次のとおりです。

《総合》①仁賀保地区②矢島町③鳥海町⑤東由利町
《規律訓練》①仁賀保地区②由利町③矢島町④東由利町
《ポンプ車操法》①矢島町②由利町③鳥海町④東由利町
《小型ポンプ操法》①仁賀保地区②鳥海町③矢島町④東由利町



わが家の
アイドル

蔵新田・太田潤夏ちゃん
(H6・7・21日生まれ)
お父さん・光弘さん
お母さん・隆子さん

「よちよちですが歩けるよう
になりました。長い物が好きで、
ハエタキ片手に遊んでいます。
いろいろな物に興味があり、忙
しい毎日です」とおばあさんの
ユミ子さん。

鈴木紀貴さん
(大琴・20歳)



秋田ルビコン(株)勤務
血液型・A型

由利工業高校卒業と同時に秋
田ルビコン株式会社に勤務した
紀貴さん。「東由利は住みやす
い町なので、地元を離れる気は
なかった」と話す彼。東京都府
中市で生まれ、小学生の時に大
琴出身の父親のU
ターンで家族四人
が本町へ。「冬に
来たこともあり、雪の多さにびっ
くり。良い友達に恵まれて、東
由利に来てからは楽しい思い出

★ステキな写真盾が当たる★

広報クイズ

どんどん応募してね

問 先月行われた参議院議員選挙
の第一投票区の投票率は何%でし
たか?

①72.46% ②70.66% ③70.76%

(ヒントは先月号にあり)

▼官製はがきに答え、応募者の住
所・氏名・年齢・身近な話題など、
なんでも結構ですので、書いてお
出ください。▼宛先/東由利町
老方 東由利町役場広報係宛▼締
切/9月14日(当日消印有効)▼
正解者の中から抽選で5人の方に
写真盾をプレゼント。

▼先月の正解は②アメリカでした。
応募してくれた7人のうち抽選で
次の5人に写真盾をプレゼントし
ます。▽後藤ともさん(雄物川町)
▽大友弘文さん(千葉県)▽青木
哲人さん(田代)▽阿部コシさん
(横渡)▽三島和美さん(象湯町)。
応募ありがとうございました。

でいっぱい。ここが私のふるさ
と」ときっぱり。のんびりした
性格のため、自然が豊かなこの
町がお気に入りの様子です。
最近一番印象に残っている
のが町長選挙とか。「二十歳
になったので選挙権が与えら
れ、大人になった気分。活気
のある町になればいいな」と
一言。そんな彼の楽しみは自
動車。休日などはドライブや
洗車が中心で「車の魅力はス
ピード」と話す紀貴さん。
「鈴鹿サーキットでF1レー
スを見てみたい」と目を輝か
せながら話していました。
秋田ルビコンに勤務してい
る彼の同級生は全部で五人。
このコーナーには彼が四番目
に登場しており、次はいよいよ
五人目、麻生節雄さんにリ
レーします。

東由利の文芸

せせらぎ句会(八月句会)

置酒歓談初鮎焼きしこほれ塩
みちのくの小町の里や鮎の宿
土用干し母が手ぬいの花もよう
同宿の一会のゆかた糊匂う
鯛や売られし山の右左
寄り添うて陽の香残りし夕すだれ
ボール追う負けずぎらいの玉の汗

小松順之助(中通)
佐藤 正義(湯出野)
工藤 武雄(山崎)
小松 女沙(下小路)
阿部 俊子(横渡)
遠藤トミ子(小倉)
小笠原亮子(蔵新田)

ゆかた縫う母の情もくくりけり
語らいの中よりもらう扇風
会釈して渡る児童の夏ぼうし
焼茄子にひらひら動く削り節
風呂上りさつくり剥いて夏蜜柑
畦刈るやからだいとひて夏未明
凶作とみてか蛙が目をつむる
蛍籠探して幼き日を拾う
敗戦日悲憤の涙新にす
蟬の声森から森へ村社
終戦忌黄桜記念植樹する

小野 貞子(蔵新田)
阿部 澄子(蔵)
嶽石 レイ(五海保)
高橋ヒデ子(横渡)
小野石路子(上里)
大庭喜右エ門(舟木)
嵯峨 義之(中通)
小松 忠正(下通)
菊地 常作(湯出野)
小松 徳蔵(湯出野)
小松慶治郎(高戸屋)

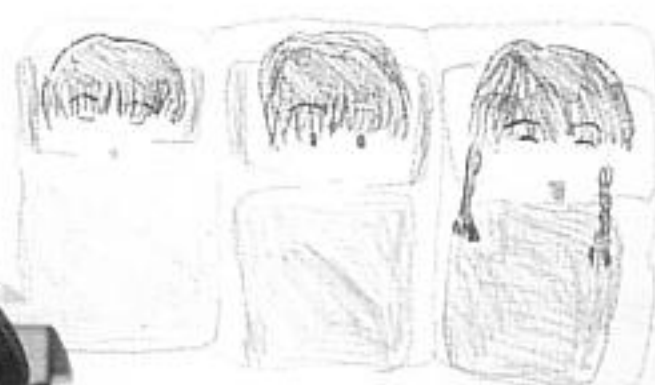
永慶保育園

おとまりはいく
(すいかわり)



おのゆうたくん (上里)

おとまりはいく

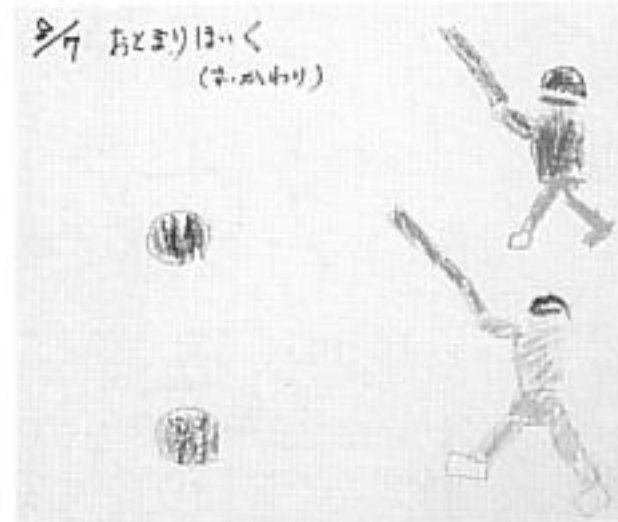


えんどうかなこちゃん (小倉)

おとまりはいく

ぼくの絵 わたしの絵

おとまりはいく
(すいかわり)



おのこうだいくん (蔵新田)

おとまりはいく



すずきなるみちゃん (沼)

やま 塩 かわ 瀬

八塩高の自然に学ぶ

八塩小

木、鳥、川から環境を学ぶ



▲巣箱の設置



▲森林学習会



▲生きもののさがし

八塩小学校では、身近な自然の中から環境について考えようと高学年を中心に「緑の美しさ」を体験。「鳥となかよし」「美しい水とぼくたち」を大きなテーマに学習。低学年は、社会科や生活科の中で、水道、ゴミ、樹木や生物の観察などに取り組み、学校全体で環境教育を進めています。

森林学習会で雑木や杉林に入り、木の種類、形、太さ、香りなどを学習し、樹木の素晴らしさを体験。また、児童会の環境

委員会が中心になり八塩こいの森や学校周辺に十個の巣箱を設置し、どんな鳥がこの巣箱を利用するか観察を行っています。さらに九月八日には田代の沖田橋周辺で河川学習会も予定されています。

同校の和田捷治教頭は「豊かな緑に囲まれているこの環境をただ見ているだけではつまらない。子供たちと一緒に、体験を通しての学習を進めて行きたい」と意欲を見せています。

ハイスクール○日記

ボランティア スクールに参加して



下郷分校1年
太田 希さん

終業式を終えた後、私たち一年生は、ボランティアスクールで雄高町雄高園へ行きました。雄高園では障害者の人たちと触れ合うということでしたが、初めは自分が何をしたらいいのか不安で落ち着きませんでした。

園内には様々な人がいました。はずかしそうに隠れてしまう人、じーっと見つめる人、うれしそうに笑う人やうまく話すことができないのに一生懸命に話しかけてくる人など。私はどのような対応したらいいのかいっそう戸惑いました。

私たちが訪れたのは、月に何回かある喫茶コーナーの日でした。私は、自分一人で飲むことができない人に、飲みたいものをカウンターから運び飲ませてあげました。中には「おいしい、おいしい、ありがとう」とうまく話すことができない人もいましたが、その気持ちは伝わってきました。そして、ほんのささいなことだったけれど、喜んでもらえることができたのでとても嬉しく思いました。

自分が雄高園でできたことは、たいしたことではなかったけれど、人との関わりで大事なことを学んだような気がしました。

9月→データ東由利

〈7/1~7/31〉

人口 () は前月比

■男	2,681人 (-)
■女	2,819人 (1)
■計	5,500人 (1)
■世帯数	1,409戸 (△2)

() は1月からの累計

・出生	5人(20)	・死亡	5人(33)
・転入	8人(54)	・転出	7人(68)

■火災出動	0件(0)
■救急出動	8件(74)
■交通事故	2件(12)
・死亡	0人(1)
・傷者	4人(15)
■飲酒運転	0人(1)
■酒気帯び	0人(0)

カレンダー 9月の行事

- 2 町連合PTA研究集会(有鄰館)
- 10 第2回秋季選抜野球大会
- 10 町民謡同好会発表会(13時、健康増進センター)
- 12 老人クラブ3町(岩城、大内、東由利)交流会(10時、有鄰館)
- 14 合同金婚式(11時、有鄰館)
- 20 第19回全県野焼きを楽しむ集い(八塩いこいの森)

21~30
秋の全国交通安全運動

東由利

郷土の野草

No.127



ラショウモンカズラ
(シソ科)

文・写真 小松忠正

路傍や山林に自生する多年草で、葉は卵円心臓形で対生し、茎は方形で花茎は直立しますが、これとは別に匍匐茎が地面をはい、節々から根を出してふえます。花は青紫色のかなり大きめの唇形花を葉腋ごとににつけます。花の内側には濃紫色の斑点と長めの白毛があります。花筒部が長く、急に太くなっていることから羅生門で渡辺綱(平安中期の武人、大江山の酒頭童子を退治したといわれる)が斬り落した鬼女の腕に似ているのでこの名があります。

戸籍の窓口

(7/21~8/20届出)

●お誕生おめでとう

- 遠藤 剛くん(ひろ子) 小倉
- 小松 友里恵ちゃん(恵美) 石高
- 伊東 涼太くん(京子) 横渡

●ごめい福をお祈りいたします

- 小野ラミヨさん(85・京子・義母) 下吹
 - 佐々木ミヨエさん(82・正安・母) 大琴
 - 小松サダオさん(83・進・母) 家ノ下
 - 阿部マツ子さん(48・幸・悦・妻) 岩館
 - 島山長市郎さん(89・東市郎・父) 茂沢
 - 梅津ハルヨさん(75・繁・義妻) 蔵
 - 駒井 貞吉さん(80・エチヨ・夫) 新町
- ※先月号のご結婚おめでとう欄、アソ・エタメディナ・エヴェリンさんは、アリエタメディナ・エヴェリンさんの誤りでした。訂正してお詫びします。

カラー スナップ

八塩七夕



毎年八月上旬に八塩小学校で行われる八塩七夕。あいにくの雨にも負けず、きれいなしかけ花火を楽しみました。

(撮影・八塩小学校PTA)

ほっとい ひといき

七月、八月は、日曜日の行事が目白押し。選挙やいろいろな大会、お盆は成人式や盆踊り、社会人野球などなど…。忙しい反面、いろいろな事を見たり聞いたりできるのでとても貴重な体験、感動することも数多くありました。『広報東由利』の腕章を付けると、不思議と人目を気にせず写真撮影ができるもの。ただ問題は腕章を忘れた時。何となくおっくうで、周りの人からも「あの人がカメラをもって何してるの」などの声も。「これからさちんと腕章をして取材にいこう」と心掛け、広報車にいつも腕章を備えている広報係です。

まぶいろう

町社会福祉協議会に、大沼武且さん(蔵新田)、大湯八郎音楽事務所(横手市)、島山東市郎さん(茂沢)からご芳志が届けられました。ありがとうございます。